



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O TOSHINIDE AKIZUKI
 8-3-410 NISHIKURACHO ASHIYA
 HYOGO JAPAN

August, 1999. No.2
 Chartered July 20, 1982

標語 Y'S SLOGANS (1999~2000)

クラブ会長 『楽しい奉仕活動、笑ってゆるして』
 国際会長 "Enthusiasm makes the difference"
 『やる気が鍵だ』
 アジア会長 "より良い世界を次世代に一美しい地球を守ろう"
 『Build a better world for the next millennium』
 西日本区理事 "21世紀に向かって新しい創造を"
 中西部長 "ワイズの原点を見つめ、より良きワイズライフを"

クラブ役員 Executives

会長: 川村 一夫
 副会長: 栗山 佳三
 " : 芳崎 栄治
 書記: 山田 孝彦
 会計: 三浦 直之
 ネット係: 隅田 恵子

月間強調テーマ: 『YOUTH ACTIVITIES, YEPP-STEP』

—8月の聖句—

[Biblical Passage of the Month]

いかに楽しいことでしょう
 主に感謝をささげることが
 いと高き神よ、御名をほめ歌い
 朝ごとに、あなたの慈しみを
 夜ごとに、あなたのまことを述べ伝えることは
 十弦の琴に合わせ、豎琴に合わせ
 琴の調べに合わせて。

(詩編92篇2~4節)

—8月第1例会—

なかのしま・センテニアル合同納涼例会
 [Joint Summer Dinner Party]

日時: 1999年 8月18日(水) 6.30~9.00p.m.
 場所: ホテルサンガーデン堂島3F

司会: 杉浦真喜子姉

1. 開会点鐘 桑野友子会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖句朗読 黒田 徹之君
4. ゲスト紹介 両クラブ会長
5. 入会式(センテニアル) 中村 茂高君
6. 食前感謝(日々の糧) 一 同
7. 晩餐 一 同
8. 交流プログラム 江見 淑子姉
9. お誕生日祝い 一 同
10. ニコニコ献金 ドライバー
11. 役員会・委員会報告 役員・委員長
12. YMCAニュース 両連絡職員
13. 閉会点鐘 川村一夫会長

—Attention Please!—

会費の振込みは下記口座へお願いします。
 今回の振込み額は45,000円です。
 大和銀行・梅田支店 普通預金 NO.6047009
 「センテニアル会計 三浦 直之」
 なお、振込みは8月20日までお願いします。

—8月の例会当番—

第4班の皆様です。よろしくお願ひします。
 (黒田君、谷川君、川越君、池永洋君、芳崎君)

—8月のお誕生日—

下記の方々です。Happy Birthday!
 畠中君 1日、田中君 14日、山田君 23日、
 坂本君 27日、谷川君 30日

【クラブ統計】

99年7月	分類	第1	第2	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 23名	メン	17名	11名	7月: 切手 553gr.	7月: 24,650円
例会出席 17名	メネット	7名	1名	現金 13,918円	
他クラブ出席 0名	コメント	0名	0名	累計: 切手 553gr.	累計: 24,650円
出席率 73.9%	ピジター	6名	1名	現金 13,918円	
(Attendance Ratio)	ゲスト	1名	0名		(除. X'MAS献金、オー
(メイクアップを託)	合計	31名	13名	(明細は"BF報告"参照)	クション、記念献金)

ALOHA! ワイズ米国大会参加特集

先般、当クラブ有志12名がハワイ島コナ市で開催されたワイズ米国地区大会に参加し、帰路ホノルルで現地ブラザークラブ、「Nuuanu Y's Men's & Women's Club」の皆様と交流の機会を持ちました。

青い空と咲き乱れる熱帯の花々、それにリゾート地特有の開放的な雰囲気の中で、ヌアヌ・クラブの皆様のおもてなしを受け、ワイズの連帯感を強く感じた充実の1週間でした。

"Thank you Nuuanu Y's Men and Mahalo!"



(ホノルル空港に到着、いざハワイ島へ)
ヌアヌクラブのピーター・パワーさんが、レイを持ってわざわざ空港まで出迎えて頂きました。ハワイに来たとの実感が湧いた瞬間でした。



(ヌアヌクラブの皆様と、歓迎ディナーにて)
アラモアナ・ショッピング・センターに隣接する大きな中華レストランでの公式歓迎会は、旅のハイライトの一つでした。記念の時計を頂きました。

【旅行日程】

6/25(金)	関空発 18.55 NW16便 コナ着 10.56 米国大会登録、公式ディナーに出席	6/28(月)	ホノルルへ移動、夕刻まで自由行動 ヌアヌクラブ歓迎ディナーに出席 (中華レストラン)
6/26(土)	米国区大会参加(谷川メン) ハワイ島一周ツアー参加(その他)	6/29(火)	自由行動。ボトック&カジノ・ディナー出席(ヒラナカ氏邸)
6/27(日)	ブラザークラブ・アセンブリーに出席 ディナークルーズに参加	6/30(水)	ホノルル発 9.35 NW15便
		7/1(木)	関西空港着 13.35 解散

【参加者】川村、栗山、坂本、坂本メット、谷川、谷川メット、朝田メット、藤原、三浦、山田、山村メット、森(メット) 合計12名

【ヌアヌよりの便り、Letters from Nuuanu】

The Nuuanu Y'S Men's & Women's Club thanks all of you who were able to attend the Brother Club Convocation and stay for a couple of days in Honolulu.

We enjoyed hosting you, making new friends and renewing acquaintances. Until we meet again, Aloha, Maurice Shimonishi

ハワイからアロハ!!!

あなた達はハワイから帰られて本当に疲れておられると思います。8時間以上の飛行機の旅行はジェット・ラグになったと思います。

私達は日本のY'sのお友達とまた逢うことができました。そして沢山の新しいお友達もできました。二人は本当に心から嬉しくて、又、あなた達と逢える日を待っています。

私達はハワイ地区大会、米国大会とブラザークラブ・アセンブリーをホストしましたから、あなた達とゆっくり話すこともできませんでした。そして広く案内することもできませんでしたから、気の毒だと思いました。許して下さい。

でもあなた達と一緒に食事をしました。一寸のお話もしました。そしてあなた達の暖かい友情を経(右欄に続く)

ヌアヌ・ワイズメンズクラブは、ブラザークラブアセンブリーに出席され、数日間ホノルルに滞在された皆様全てに感謝致します。

私達は皆様方をお迎えし、新しい友人を作り、交遊を新たにできたことを喜びととしてります。また逢う日まで、

アロハ モリス・シモニシ、会長

験しましたから、この短いハプニングは私達には素晴らしい楽しい時間でした。

ヌアヌY'sのメンバー達は、大阪Y'sのTシャツとメネットの可愛いコースターを使っています。どうも有難うございました。

ハワイではTシャツは1年中着ますから、皆は喜んでいます。

あなた達と逢いまして、お食事とお話とカジノナイトが嬉しい時であったと皆が言っています。この様な経験がブラザー関係とワイズダムの信念だと思えます。

私達はあなた達が忙しい時間に米国大会とブラザークラブ・アセンブリーにきて下さいましたことが本当に嬉しくて、心から感謝しています。

またハワイに来て下さい。マハロ・ヌイ・ロアラリー&メー・ヒラナカ

【参加者より一言、Participants' Comments】

○ホノルル空港でレイをかけて頂き、その後も2回レイを頂きました。これはヌアヌクラブの人たちが私達を特別の待遇で手厚いもてなしをして頂いた証明です。毎日の朝食まで心配して下さいました。ヒラナカ夫妻を始め多くの人達のあまりの親切な心遣いに感謝の気持ちで一杯です。

現地ではコンベンションに参加は致しましたが、ヒヤリングが全く駄目で、ただ参加しただけということでした。

しかし最終日黄昏ショーボートに乗り湾内でフラダンスを見たり、参加したりで、とてもハワイらしい楽しい夕べとなりました。

またチャンスがあれば行きたいと思いますが、少々ヒヤリング、スピーチができる様にしてと思っています。(川村一夫)

○ハワイでの思い出は楽しいものばかりですが、特に私の印象に残っているのは、ヌアヌYMCAです。早朝、ヌアヌYMCAの地下駐車場はラッシュ時の阪神高速道路の様です。

サマースクールにやって来る子供達を親が送ってくるのです。その数400人とも500人とも、YMCAの中は子供達の活気で溢れています。でも子供達だけではありません。

ロビーフロアでは地域のお年寄りが競いの場として集い、ジムでは若者達が身体を鍛えています。プールではティーンエイジャー達がしゃいでいるのです。

このYMCAは本当に地域のコミュニティーセンターとしてなくてはならない存在の様です。活発な活動を見て、とっても清々しい思いをしました。(坂本千春)

○1985年に同じハワイ・コナで開かれたアメリカ地域大会に参加して以来、14年ぶりの大会参加でした。米本土、そして地元ハワイの参加者の顔ぶれはあまり変わっていません。みんな老人になっていました。アメリカワイズの高齢化が目立ちます。

今回のハイライトは、ハワイのブラザークラブとブラザーになっている世界の兄弟クラブを集めて、アロハ・スピリットを振る舞ったブラザークラブ・アセンブリーでしょう。

今回の主役を勤めたヒロクラブから、IBCのRSDであるM、ハコダや、RSDのB、イノウエ等ができるだけ多くのクラブとブラザーになることを奨め、隣に座っているワイズメンと親しくなり、これを機会にブラザーになってはと呼び掛けました。(ヒロクラブは日本とも既にブラザーを持っていますが、今回も東京クラブとブラザーの締結がありました。)

お陰で京都のクラブと米本土のクラブがブラザーの仮調印をした他、いくつかのカップル誕生の可能性が生まれました。

ムード作りが大変上手で、昔、日本に来て集会をやったクリスチャン・クルセード(福音伝道集会)を思い出しました。(谷川寛)

○今回のハワイ・コナ大会で、思いがけずロサンゼルス時代に所属していたクラブの旧友に再会しました。ウエストチェスター・クラブの二組の夫婦、ヒュゴ・フランシスとボブ・ニース夫妻です。大きな収穫でした。

話が弾み、昔の懐かしい話から、飼っている亀の「ハーベイ」の近況にまで話が及びました。楽しい二日間でした。(谷川有美子)

○ハワイをなで通った印象 ①エメラルド色に澄んだ海 ②リメンバー・パールハーバーを今に伝える戦艦アリゾナ海底墓地 ③活火山とは信じられない静かなキラウエア大火山 ④狭いワイキキの浜辺と無遠慮に浜辺を独占するホテル群 ⑤見栄えのしないダイヤモンドヘッド ⑥乱立する有名なブランドショップ ⑦甘い甘いデザート&ジュース ⑧無料のハイウエー ⑨ハワイアン・ホスピタリティ、に至れり尽くせりの歓待振りで、いささか疲れしました。

(栗山佳三)

○今回の米国区大会・ブラザークラブ・アセンブリーに参加した感想を申し上げますと、どの写真を見ても本当に嬉しそうにしております。とても楽しく過ごさせて頂きました。メイさん、ラリーさん始めY'sのメンバーの皆様が、細やかな心遣いで何から何までお世話頂きました。感謝しております

また、米国区のY's Menと笑顔で親しく交わることができ、Y'sにつながる喜びを親しました。

大会では、映画で見ていた世界を体験することができました。青い空と海、大きなテントの下でのランチ、自分で作るサンドイッチの大きさ、ディナーも楽しくおいしいものばかり、デザートもたっぷり、もう大満足です。そしてディナークルーズの盛り上がりは興奮も最上級です。

そんなディナーの後にもホスピタリティの時間があり、ハワイのクラブの方々手作りケーキやマンゴの酢づけ、果物、飲み物を用意してもてなして下さいました。おなが一杯なのに又々頂いてしまいました。毎晩です。ホノルルに移ってから歓迎会、観光、ショッピングとお世話下さり、私はクラブチーズをお土産にと思っておりましたので、大型の安いお店に連れて行って頂きました。

ヒラナカさんのお宅のボトラック&カジノディナーは、ハワイの方の生活を見せて頂いた様に思います。広い広いリビング、すっきりかたづけられたキッチン、インテリアも日本の物を上手に飾ってあり、鈴木メンゴ夫妻の写真も飾って、本当に行き届いた歓迎です。ワイズメントの大切なおもてなしの心を教えて頂いた様に思います。

あつという間の1週間でしたが、言葉の心配もなく楽しく過ごせましたこと、メイさん、ハワイのY's Men、そしてセンチアルの皆様にお礼申し上げます。

(隅田恵子)

○人が人にどこまで親切にできるか、その極限を知った旅でした。ワイズにおけるIBCの重要性も実践して初めて分かるものですね。(藤原正巳)

○今回のハワイ旅行に際して、ヌアヌクラブの方々には大変お世話になり、心のこもったもてなしに大いに感謝致しました。同じワイズということでごんなに仲良くできて感謝です。

特にヒラナカ邸でのホームパーティーはアットホームな雰囲気の中で食事、ゲーム、オークションと最高でした。

又、ハワイ島では火山の荒涼とした月面の様な風景や、コナビーチホテルでの大会、ディナーパーティーも楽しかったです。片言の英語ながら各国の方と交流でき良かったです。是非又行って見たいと思います。今度はもっと良さが分かる様な気がします

(三浦直之)

○今度のハワイ訪問の印象をまとめていうなら「空と海の澄みきった青さ」「もてなしの心の暖かさ」が私には残ります。いずれも今の日本でははるかに遠くなくなってしまっていて出会うことが難しいものですね。

自然環境の差は今更言うまでもなく、当然の結果と否応なく納得できますが、それにしてもあの徹底的に澄みきった深い「青さ」には思わず息を呑む思いでした。(山田孝彦)

